お役立ち!栄養ニュース 2014年4月号

日差しも少しずつ暖かくなり、過ごしやすい季節になってきました。 しかし、この季節は花粉症が気になる方にとって辛い日々です。 そこで、今回は<mark>花粉症の対策</mark>をご紹介します。



花粉症はアレルギーのひとつです。

アレルギーと言っても外因性(花粉症やじんましん)と内因性(バセドウ病)があります。 いずれも免疫の過剰反応で未だに不明な点がありますが、

現時点で有効とされているのは抗酸化作用の強い食材です。 また、免疫細胞を活性化させるキノコ類やヨーグルトもお勧めです。



花粉症対策は、 免疫機能をアップ させることが大事 なんだね!



■バランスの良い食事が大切■

高脂肪な食事や加工食品の添加物などは、

アレルギー症状を悪化させると言われています。

野菜や果物はビタミン・ミネラルを多く含み、まさに抗酸化作用となります。



■免疫細胞の状態を決めるのは生活習慣■

免疫力は自律神経の影響を受けます。

無理なダイエットや 間違った食生活も 免疫力低下を 助長してしまうよ!

昼夜逆転の不規則な生活や精神的ストレスを溜め込むと、 自律神経のバランスが崩れると共に免疫機能も 低下しやすくなります。

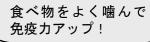


免疫細胞は腸管粘膜に多く集まっています。

食べ物を食べると食道→胃→腸へと進み、このとき粘膜を刺激し 免疫細胞が活性化されます。

よく噛むことは単に消化しているだけでなく、

エネルギー消費促進・熱産生アップ・体温上昇…結果として免疫力のアップにつながります。







当院の栄養相談は3人の管理栄養士が担当しております。 食習慣や生活パターンはお一人お一人さまざまですが、 その方に合った食事の摂り方を具体的にわかりやすく アドバイスできるよう心がけています。

ご希望の方は、当院スタッフにお気軽にお声かけください。 (但し、保険に規定された料金は発生いたします)

柴本内科循環器科